

コミュニケーション中原 Communication Nakahara

中原自治会広報部

中原自治会館：横浜市磯子区中原3-6-24 ◇Tel・Fax：(771) 9401

ホームページアドレス：<http://www.nakahara-jitikai.yokohama/>



明けまして

おめでとうございます

新型コロナウイルスが全世界に広がり、未知の新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐために日本では3月に学校が休校となり、4月7日に緊急事態宣言が発出された。

このことを受け、中原自治会でも令和2年度の総会を書面総会とし、以降すべての活動を自粛しました。

感染者数が減少した7月から理事会と評議員会を別日程で再開しました。しかし、みなさんが楽しみにしていた盆踊り大会、夏祭りは中止し、防災訓練、年末の餅つき大会も中止としてきました。

このような状況の中で、自治会活動の進め方も難しくなっています。一日も早く新型コロナウイルス感染症が終息し、これまでの日常が戻ることを祈ります。

今年も中原自治会活動にご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

I. 中原自治会より

1. 集金日のお知らせ

財務部

1、2月の集金日は次の通りです。

- (1) 1月17日(日) 10:00~12:00 中原自治会館
- (2) 2月14日(日) 10:00~12:00 中原自治会館



II. いきいき磯子 中原睦和会 令和3年1月 行事予定

項目	場所	日時
定例会	中原自治会館	25(月) 9:00~15:00

※密にならないように人数を分けて行います。ご協力、宜しくお願い致します。

中原自治会では、自治会活動にご協力いただける方を募集しています。また、市から委嘱される各種委員（2・3ページに記載）の募集も行います。ご関心のある方は理事会・評議員会時に役員まで申し出て下さい。

～各種自治会からの委嘱委員の募集～

現在、横浜市から委嘱されている5つの委員の方の任期が令和3年3月31日をもって満了となるため、中原自治会に対して委員の推薦依頼がありました。

つきましては、それぞれの活動に興味・関心をお持ちの方がいらっしゃいましたらお申し出ください。なお、委員の任期は令和3・4年度です。

申し出方法：中原自治会役員に申し出ただくか、氏名・連絡先・委員名を書いて自治会館ポストにお入れください。

申し出期限：2月5日です。

横浜市保健活動推進委員

1 保健活動推進委員とは

保健活動推進委員は、地区単位や区単位で活動する地域の健康づくりの推進役で、行政の健康づくり施策のパートナーです。

2 保健活動推進委員の活動内容

健康づくりを自ら実践するとともに、それを周囲の人に広め、地域全体で健康づくりに取り組んでいく活動を行っています。

- 活動例
- ・健康づくりに関する研修会への参加
 - ・健康チェック、体力測定の実施
 - ・ウォーキング、体操教室の開催
 - ・タバコの害の啓発活動 など

3 推薦要件

- (1) 健康づくりに関心があり、地域で健康づくり活動を実施する意欲がある方
- (2) 任期2年間を通して活動できる方
- (3) 地域の各種団体・機関や住民と連携し、自主的に活動できる方
- (4) 保健福祉センターが実施する健康づくり関係事業に、積極的に参画できる方
- (5) 委嘱時(令和3年4月1日現在)に、78歳未満の方

横浜市スポーツ推進委員

1 スポーツ推進委員の役割

スポーツ推進委員は、本市スポーツ行政の推進役として重要な役割を担います。また、特に活動の拠点を地域におき、地域住民と連携し地域に根差したスポーツ・レクリエーション振興事業を展開していく役割を担っています。

2 スポーツ推進委員の主な事業

- (1) 地区（または自治会・町内会）を単位としたスポーツ事業の企画・実施・支援
- (2) 市のスポーツ事業への参画並びに協力



3 推薦基準

- (1) 20歳以上の横浜市在住の方
- (2) 委嘱時(令和3年4月1日現在)に、新任の場合は原則65歳未満の方、再任の場合

- は原則70歳未満の方
- (3) 社会的信望があり、スポーツに深い関心と理解のある方
 - (4) 地域などで、熱意をもってスポーツ大会や各種スポーツ教室の企画・運営をし、指導・助言のできる方
 - (5) スポーツ活動・行事に積極的に参加できる。

横浜市環境事業推進委員

1 環境事業推進委員

ヨコハマ^{スリム}3R夢プランを進めていくうえで、大変重要な役割を担っていただいております。

2 環境事業推進委員の主な活動

- (1) 自治会・町内会と連携した、ごみ減量による脱温暖化に向けた3R行動の推進
- (2) 自治会・町内会と連携した地域の清潔保持
- (3) 環境事業に関する意見及び情報の提供等

3 推薦基準

- (1) 自治会・町内会等と緊密な連携をとれる方
- (2) 3R行動の推進等の実践活動に積極的に取り組んでいただける方
- (3) ごみ集積場所において分別の実践・啓発活動ができる方

横浜市消費生活推進員

1 消費生活推進員

消費者の主体的活動を推進し、市民の安全で快適な消費生活の推進を図ることを目的としたもの

2 消費生活推進員の主な活動

- (1) 消費生活に関する知識・情報の地域への普及啓発活動
- (2) 消費者と事業者の交流活動

3 推薦対象者

20歳以上で、「市民の安全で快適な消費生活の推進」の熱意のある方

横浜市磯子区明るい選挙推進協議会推進員

1 磯子区明るい選挙推進協議会

「三ない運動（贈らない・求めない・受け取らない）を基本に、不正のない明るくきれいな選挙と、積極的な投票参加を呼びかけ、投票率の向上を目指して活動しています。

2 各種事業の実施

- (1) 明るい選挙推進員研修会
- (2) 常時啓発、選挙時啓発

3 推薦基準

- (1) 明るい選挙推進運動のご理解のある方
- (2) 協議会が行う各種事業へ意欲的に取り組んでいただける方

中原のこと その7 ～市電のあった頃～

会長 金子善政

今回は屏風浦の海の写真に写っていた市電の話をします。中原に市電が来たのは大正14年。その時は聖天橋までで、昭和2年に杉田（現在の京急バスの杉田）まで路線が延長された。やがて、自動車時代になると、市電は邪魔者扱いされ昭和42年に杉田一芦名橋間が廃止された。右の写真は中原停留所の様子である。市電は国道16号線の中央車線に敷設されていた。中原の停留所は中原交差点あり、交差点の角のタバコ屋さんが見られる。



中原（8系統桜木町行）

市電保存館からお借りしました

写真にあるように市電に乗るには、停留所の看板の下付近で待ち、電車が近づくと軌道まで歩き、電車に乗る。大きな停留所には安全地帯と言って一段高くなった場所があるのだが、中原には安全地帯はなかった。時刻表などはなく、始発時間と終発時間だけが決まっています、電車は大体7～8分間隔で走っていたようである。当然、自動車も走っていたので、よく事故が起きなかったと思う。切符は電車の中で買う。ガマガチを大きくしたようカバンを下げた車掌さんから切符を買い、降りる時に運転手か車掌さんに渡す。時代が進むと車掌さんも女性の方が現れ、そのうち車掌さんがいなくなりワンマンカーとなった。

市電で思い出深いのは花電車である。記念行事があった時などに飾り付けされた電車が市内を走る。夜は電飾されていた。市電保存館には路線が廃止されたときに走った花電車が展示されている。



中原～境橋（13系統杉田行）

境橋～中原を走る13系統の市電
(市電保存館より)

中原には8系統と13系統の市電が走り、どちらも杉田一桜木町間を運航していた。

このころの横浜の繁華街は伊勢佐木町であった。横浜駅西口はまだ砂利置場であり、高島屋が出来たのは昭和34年。繁華街が西口に移るのは昭和40年代後半になってからである。伊勢佐木町には野沢屋と松屋、赤灯台の松喜屋というデパートがあった。その他、有隣堂や文明堂、不二家もあり、封切り映画館などもあった。屏風浦の人達は伊勢佐木町に行くとき、「横浜に行く」と言っていた。根岸の山の向こうが横浜であった。

伊勢佐木町に行くには13系統に乗り、長者町5丁目か羽衣町で降りる。伊勢佐木町を歩くことをイセブラと言っていた。

市電の終点の「杉田」を我々は杉田とは言わず「終点」と言っていた。停留所だけでなくその付近も「終点」で通じる。例えば、「杉田小学校が焼けた時、俺たちは終点にあった工業試験場で授業を受けた。」などである。終点に日飛^{ニッピ}がある。戦後初の国産旅客機であるYS-11の開発に日本飛行機が参加していた。このYSのイニシャルは「ヨコハマ・スギタ」と言う都市伝説がある。

聖天橋から京急杉田駅間の商店街は、聖天川を暗渠にして新たに作られた道である。この道を「新道」と呼ぶ。今日は新道の〇〇屋さんに行くなどと言って買い物に出た。